

第34回全国椿サミット松江大会
記念菓子「椿菓」の販売



〈椿サミット
特設ホームページ〉

松江まちかど

ダイアリー

市報 松江 目次

- 02 松江市出身の輝くアスリートを紹介します!
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」/
町自連だより
- 06 国際交差点/シリーズ松江の文化力×未来
- 07 マイレポート/令和6年能登半島地震被災地への本市の支援
- 08 松江市総合文化センター プラバホール
4月1日リニューアルオープン
- 09 本庁の住民異動届出窓口の受付時間を延長します/
アイリッシュ・フェスティバル in Matsue 2024
- 10 4月28日は衆議院島根県第1区選出議員補欠選挙
- 12 後期高齢者医療制度の保険料額と納付方法
- 13 住民税非課税世帯等にかかる給付金(1世帯
あたり7万円)の手続きはお済みですか?
- 14 ひとりで悩んでいませんか?
- 15 中海・宍道湖・大山園城市長会通信/
「松江市行財政改革」令和4年度の取り組み結果
- 16 子育て・健康・福祉
- 18 医療費の節約に取り組みましょう/
成人の8人に1人は慢性腎臓病(CKD)です
- 19 マイナンバーカードだより/新型コロナワクチンの
無料での接種は令和6年3月31日で終了します/
情報ひろば
- 26 でかけてごしないイベント情報~

親子で挑戦!
エコクッキングコンテスト



〈市ホームページ〉

1/19~



市の花である「椿」をモチーフにした特製和菓子を松江菓子協会会員店(彩雲堂、風流堂、三英堂、福田屋、一力堂、桂月堂、松江クロード)が販売しています。(3月下旬まで。各店舗ごとに異なります。)3月9日の椿サミットでは「椿菓」が一堂に会します。詳細は特設ページをご覧ください。



1/21



毎日の生活と食品ロスとの関連について考えるとともに、親子のふれあい、食育や環境教育へつなげることを目的にエコクッキングコンテストを開催しました。コンテストの結果や料理の内容などを市のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



松江市ホームページ

防災メールに登録しましょう。
QRコードを読み取って、
空メールを送ってください。



商標について:QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

松江市長 上定 昭仁の

上を向いていこう

Vol.32



「スポーツが松江の存在感を高めます！」

松江市は、市政を進めるための総合計画「MATSUUEDREAMS 2030」において、2030年に市民のみなさんが「スポーツが松江の存在感を高めた」と実感できることを目指しています。

今回、本誌で紹介する地元出身のアスリートのみなさんが、全国・世界を舞台にさらなる飛躍を遂げられることを大いに期待していますが、松江市出身の私たちの先輩が、日本のスポーツ界で顕著な功績を残しているのはご存知でしょうか。

なかでも、今から157年前の1867年に雑賀町に生まれた岸清一氏は、東京帝国大学（現在の東京大学）在学中に漕艇選手として活躍し、その後、大日本体育協会（現在の日本スポーツ協会）の会長、国際オリンピック委員会（IOC）の委員として奔走・尽力され、1964年東京オリンピック開催の立役者となりました。

わが国のスポーツの発展への貢献を顕彰して、島根県庁前には岸氏の銅像が設置され、1964年の除幕式には当時のIOC会長が参列して岸氏の功績を讃えました。毎年3月に開催する「まつえレ

ディースハーフマラソン」に「岸清一賞」が設けられ、秋には「岸清一記念松江市民レガッタ」が開催されるなど、今日でも岸氏の名をもって松江市のスポーツ振興を図っています。

2030年には、島根県において「島根かみあり国スポ・全スポ」が開催されます。本市は、水泳、体操、バスケットボール、テニス、バレーボール、ハンドボール、ソフトテニス、バドミントン、卓球、ボクシング、ライフル射撃、高校軟式野球などの競技種目の主会場となる予定です。県選手団の活躍を願っています。

松江市は、全国・世界に挑戦するスポーツ選手のみなさんを応援しています。市民のみなさんのご声援、よろしく願います！



スターターを務める上定市長



「国宝松江城マラソン」ファンランを快走中！

町自連だより 自治会の課題解決に向けて

持田地区自治会連合会
会長 矢田 幸治

持田地区自治会連合会は、29の自治会で構成されています。人口は新興住宅や集合住宅の建設などで年々増加しており、現在約4,300人となっています。

こうした中、従来からの地域では高齢化により自治会の存続が難しくなる一方、新興住宅地で自治会設立も進んでいます。また集合住宅の住人を準会員として既存の自治会に迎え入れるところもあります。

そこで自治会連合会で、各自治会が抱える課題を把握するため、自治会アンケートを実施したところ、役員のなり手がない、会員同士の交流がない、奉仕作業が高齢化でうまくいかない、鳥獣被害の拡大、高齢者の見守り、防犯についてなどたくさん問題が浮き彫りになりました。

これを基に自治会連合会と公民館の共催により、「まちづくりフォーラム」を2月に開催し、課題解決に役立てていくこととしています。



防災研修の様子
自治会の会員同士の繋がりがづくりにも役立っています

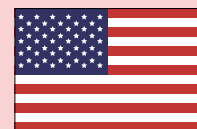
国際交差点

松江の友好都市ニューヨークズより



ジャパン・ソサエティ・ニューヨークズ
イリヤ・ティツツエル

vol.47



ニューヨークズは、その歴史、文化、食、音楽などの面から、アメリカ国内でもユニークな都市です。観光客にとってはちょうどいい大きさで、街歩きできるエリアがたくさんあります。これは車社会のアメリカではとても珍しいことです。

ニューヨークズには豊かな歴史があります。ネイティブ・アメリカンは今もこの地に定住し、過去にはフランスとスペインがニューヨークズを統治しました。多くの住民は、苦しみをもたらした過去の奴隷貿易のためアフリカやカリブ海諸国にルーツを持っていきます。新しい移民の波は、約100年前のドイツから始まり、1970年代にはベトナムからの移民を受け入れました。これらの歴史的な出来事すべてが、ニューヨークズの豊かで異なる文化、建築、食、音楽、祭り、そして独自性に貢献しています。

オール料理や、ケイジャン料理は、シーフードがメインですが、日本からの旅行者には馴染みのない調理法かもしれません。他にもいろいろな国のレストランがあり、この街に14年以上住んでいても、新しいおいしい店を簡単に見つけることができます。カフェとコーヒー文化もあります。

さまざまな音楽もあります。ニューヨークズはジャズ発祥の地として知られています。クラシック、ロック、ブルース、R&B、ゴスペル、アフリカ音楽なども聴くことができます。市内中心部のフレンチ・クォーターには、音楽であふれる通りや多くの路上パフォーマンスがあります。何十万人もの観光客が集まる音楽フェスティバルなども開かれます。

ニューヨークズはマルディグラというカーニバルで有名です。音楽バンドの行進、社会的なコメントやジョークを言う彫刻で飾られたトレイラーやトラックから、観衆にビーズという装飾などを投げつけるパレードで、街全体で祝います。多くの学校や会社は休みになります。



名物のチコリコーヒーとベニエ（ドーナツのようなお菓子）



スペイン統治時代の建物が残る旧市街フレンチ・クォーター

ニューヨークズを訪れたら、知らない人が話しかけてきても驚かないでください。ニューヨークズの人たちはおしゃべりが好きで、知らない人にも話しかけてきます。道に迷った時や淋しい時に役に立ちますが、少しシャイな人は、慣れるまで時間がかかるかもしれません。まとめるには決して退屈せず、ユニークな体験を提供します。

シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人をご紹介します！

Vol.13



たまたやぶるの
玉田谷ブルノ

ブラジル連邦共和国出身、大田市在住。大田市内で勤務しながら、城を攻める・守る目線で松江城を案内する「まつえ時代案内人」の「堀尾忠氏」として、松江の文化の魅力を伝える活動をしている。

私が初めて松江城を訪れたのは8歳の時です。松江城の天守を初めて見た時は、言葉が出ないほど感動したことをよく覚えていています。父が日本人ということもあり、ブラジルに住んでいた時から日本のアニメや本を通して、日本の文化が好きになり、歴史や文化について勉強をするようになりました。

10年前から日本に住みはじめ、松江の文化を守るために何かできることはないかと探していたところ、「松江武者行列」への出演をきっかけにお誘いいただいたのが、現在活動をしている「まつえ時代案内人」です。現在は松江藩初代藩主の「堀尾忠氏」として、松江城を訪れた人に松江の魅力を伝える活動をしています。



案内する玉田谷さん

また、私自身が身に着ける武具にもこだわっています。武者はイメージが大事だと考えているので、殿様にふさわしい甲冑をはじめ、扇子や番傘についても職人が作った「本物」を身に着けるようにしています。

松江は「武者のまち」であり、昔の風景や面影を残した素敵なまちです。今後は「堀尾忠氏」としての活動も継続しながら、SNSを使って、写真や動画で松江の文化を積極的に発信していきたいと考えています。特に、私は英語やポルトガル語も話すことができるので、海外の人にも魅力が伝えられるよう努力したいと思っています。

まちをよくする
……
マイルポート

「スポーツ推進委員の役割」

松江市スポーツ推進委員 諏訪 智子

国民体育大会が令和6年から国民スポーツ大会へと名称が変わります。これは本来のスポーツが持つ、「休養する・楽しむ・遊ぶ」というイメージへの転換を図るためだそうです。

令和4年には、中学校の学校クラブ活動を地域連携に移行し、地域のスポーツ活動としていくこととされました。

こうしたスポーツに関する考え方が変化していく中、私達スポーツ推進委員は、生涯スポーツの推進と地域住民の多種多様なスポーツニーズへの対応など、スポーツを通じたコミュニケーションづくりの協力という役割と、それに加えて公共団体と地域スポーツ団体とのコーディネーターとしての役割も期待されています。

り、スポーツ推進活動も徐々に活性化しています。公民館対抗の各種競技も少しずつ再開され、各地区で運動会などのイベントも開催されました。ボッチャやモルックなど新しい競技も増えています。元通りの活動をするのはとても大変ですが、スポーツ推進委員が一致団結して地域の体育協会や

他団体とも協力しながら、地域を越えて仲間の輪を広げ、楽しく笑顔の輪を広げていきたいと思えます。「笑う門には福来る」笑顔で、介護予防や健康寿命の延伸となるように、活動していきたいと思えます。皆さんも一歩外へ出かけて、スポーツと一緒に楽しみませんか？



地区運動会の様子



令和6年能登半島地震被災地への本市の支援

「義援金」と「珠洲市へのふるさと納税」を受け付けています

本市では、姉妹都市である珠洲市の被災者の生活再建を支援するため、義援金箱を設置しています。なお、義援金のみ受付とし、救護物資は受け付けていません。また、珠洲市へのふるさと納税による災害支援を代理で受け付けています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

義援金受付期間 3月29日(金)まで(期間を延長する場合があります)

義援金箱設置場所

市役所本庁・各支所、各公民館、松江市立病院、保健福祉総合センター、市民活動センター(STIC)、松江市総合体育館、市立中央図書館

※受付時間は各施設の開庁、開館時間に合わせて設置しています

ふるさと納税代理受付期間 3月31日(日)まで(期間を延長する場合があります)



〈市HP〉



〈ふるさとチョイス〉



珠洲市などに市職員を派遣しています

1月4日に市職員3人を派遣し、当面の支援物資(食料品、飲料水、簡易トイレなど)を届けました。また、1月17日から13日間ごとに2人ずつ市職員を継続して派遣し、現地で罹災証明書などの発行業務を担っています。2月2日には松江市上下水道局の職員4人と給水車を穴水町に派遣し、給水支援を行いました。

今後は、珠洲市からの応援要請に基づき、追加の応援職員派遣を継続していきます。



〈珠洲市での応援業務の様子〉

本市では、できるだけ早期に被災者のみなさんが通常の穏やかな生活を取り戻されるように、支援をさせていただきます。市民のみなさんのご理解、ご協力をよろしくお願いします。